

# LG ロスガラ OB 会報

2005 年 8 月発行  
第 50 号発行: 東工大ロス・ガラチューロスOB会 <http://logob.at.infoseek.co.jp/>

## 祝 ロスガラ OB 会報 50 号!! ~特集記事 2 面から~ 山野コンテスト開催迫る!! ~ロスガラ 8/20, 22 番目に見参~

### OB 会長挨拶

OB 会長 森田 乾一郎(S55 入学)

ロスガラ OB の皆様、いつも OB 会をサポートしていただきありがとうございます。私はこの度 OB 会長を拝命いたしました、1980 年入学の森田乾一郎です。現役時代はアルト・サクスを演奏していましたが、どちらかというと司会に力を入れていたような気がします。2006 年の 12 月までの期間を OB 会長として、幹事の皆さんとともに活動していきますので、どうぞ、よろしくお祈いします。

皆様もご存知のように、ロスガラの大学ビッグバンド界における活躍は昨年、一昨年と 2 年連続で山野ビッグバンドコンテストで入賞を果たしたことで明らかなように、スタンダードに評価をされており、一 OB としてもうれしい限りです。特に創設のときの原点である、「ラテン」を追求するバンドとして、独自のポジションを築いていることが、演奏会やオフィシャル Web などから伝わってきます。私も、大学卒業後にラテン音楽の世界にドップリ浸かっているのですが、色々なラテンバンドにロスガラ OB が参加しているのを見たり、「ロスガラにいたんですか、だからラテン好きなんだ」と言われる機会も多くなりました。

今期の OB 会の活動方針としては、これまで同様、現役の自主性を重んじて、必要な部分についてのサポートを行っていききたいと思ひます。過日、現役の三役の人たちと懇親会を行いました。その際、譜面アレンジ代や演奏機会など、現役の方々のみでは解決が困難な問題が挙げられました(後述参照)。OB 会としても可能な限りバックアップをしていききたいと思ひますので、皆様のご協力を是非お祈いしたいと思ひます。

来年の 2006 年は定演 40 回目の節目の年となりますので、今から何か企画を考えていききたいと思ひます。皆様も「こんなことをやってほしい」というようなご意見があれば、ぜひお寄せください。OB 会の各同状況については専用 Web ページ (<http://logob.at.infoseek.co.jp/>) でご覧になれます。どうぞ、ご覧の上、掲示板などに書き込みをしていただければ幸いです。どうぞ、よろしくお祈いします。

### 新幹事挨拶

吉田 伸也(H07 入学)

ロスガラとのお付き合いが始まって、本年でもう 10 年となりました。この 10 年間は、ロスガラ現役の方々との山野コンテストにおける活躍もさることながら、ロスガラ OB 会も負けじと、3 回の OB 大演奏会を実施や OB 会 HP の充実化など、ますます元気に活動しております。そして、今号で OB 会報は遂に 50 号突破という快挙を達成しました。そのような節目の年に OB 会幹事を仰せつかり、とても光栄に思うと同時に、大変プレッシャーも感じております。今後 2 年間、益々の OB 会の発展のためにも様々な議題の解決が必要となって参りますが、皆様のご協力のもと、少しづつ前進していききたいと思ひます。宜しくお祈いします。

堤 啓児(H08 入学)

気がつけば、個人的には OB になってから 7 年目になりました。その 7 年間の現役ロスガラの活躍ぶりは今更言うまでもありませんが、今でも仕事のストレス発散に週末に細々とバンド活動を続けてる身としては、その活躍ぶりは、素直に嬉しく思うと共に若いもんには負けてられん、と自分自身の活入れになり、週末バンドおやじの生活にも熱が入ります。OB 会では Web 管理を中心にお手伝いさせていただく事になります。ネットがここまで普及した時代、現役時代に部室や酒の席で交わした、アツいコミュニケーションにはかなわないまでも、OB 同士の交流のためにネットを介して何かしらお手伝いできる事はあるかと思ひます。2 年間の任期ですがよろしくお祈いします。

ということで、2005 年度の OB 会幹事は、新会長の森田さん、昨年から継続の松岡さん・伊藤さんに、堤さん・吉田を加えた 5 人体制です。宜しく御祈いします。

## 祝 ロスガラ OB 会報 50 号突破！

今号をもって、ロスガラ OB 会報は遂に 50 号を突破しました。OB 会報は原則として、年二回の発行であることから、単純に考えても 25 年の歴史があることとなります。今回は、50 号突破を記念して、これまでの長い歴史を振り返ってみたいと思います。

### ◎ロスガラ OB 会発足から発行開始まで

S46.4 にロスガラ OB 会が発足<sup>1)</sup> (ロスガラ誕生は S37.4<sup>2)</sup>) した後、毎年末に「活動報告書」として、次年度運営方針、当年度会計報告などを行っていた (現在の事務連絡に当たる)。これが現在の LG OB 会報の母体となったようである。

S51.4 に「LG OB 会報」の名で創刊号が発行された<sup>2)</sup>が、第 2 号の発行は、その後 S54.11 まで時を空けることとなった (その間、上述の活動報告書として事務連絡が行われていた)。

しかし、第 2 号における OB 会会長 鈴木秀秋氏 (S38) 挨拶「今後、会誌を通じて会員諸兄の近況や提言、現役の活動状況、思い出秘話、等で情報交換を行い、OB 会員の世代の違い、距離の遠さを少しでも乗り越えられれば幸い」に込められた思いのもと、OB 会活動報告を含めた、「ロスガラ総合情報冊子」として一本化され、今に至っている。

なお、発行開始当時 (S54) は、現在のような PC の普及は当然なされておらず、LG OB 会報も全て手書きであった (著者は字が下手なので、当時 OB 会幹事をやっていたら、大恥をかいたことが想定される)。

### ◎当時の連載記事 1 (2~17 号：手書き時代)

発行当初から、事務連絡以外の内容の充実化を目指した、様々な連載があった。大佐古氏 (S46) の「音楽教室」(全 13 回)、各代幹部による「ロス・ガラチェロスのあゆみ」(全 11 回) といった長期連載をはじめとして、理工と、クロスワードパズルまで存在した。また、理工系大学の強みを生かした (?) 新規技術紹介のコーナーも、断続的にあった<sup>3), 4)</sup>。息抜きに読める、楽しい「ロスガラ総合情報冊子」としての基本形態が、この時期に既に完成されていた。

### ◎ワープロ導入 (19 号以降)

第 19 号 (1988.10) 以降から<sup>5)</sup>、ワープロが導入された (題字ロゴ以外全て)。といっても、まだまだ一般家庭への PC 普及は進んでいなかったはず。当初は、色々と工夫が施されていた【後述の林田氏 (S55) 寄稿を参照】。この後、24 号から、題字ロゴも含めて全て電子化され、ビジュアル上も非常に完成度の高い冊子となった。

#### 【参考文献】

- 1) ロスガラチェロス OB 会報告書, 1978.4.
- 2) 会報 第 2 号, 1979.11. (創刊号は現存無し)
- 3) 会報 第 4 号, 1980.10.
- 4) 会報 第 17 号, 1986.11.
- 5) 第 18 号散逸のため、正確なところは不明

### ◎当時の連載記事 2 (19 号以降)

19 号以降は、「オルケスタ・デル・フト<sup>(※1)</sup> 活動記」を皮切りに、「ロスガラの妻たち<sup>(※2)</sup>」「ジャズフェスレポート<sup>(※3)</sup>」「n コマ漫画ロスガラくん<sup>(※4)</sup>」等々、鬼才・奇才入り乱れた名物記事が、断続的に連載された。当時の文書は、ほぼ全て PDF 化され、幹事会において厳重保管されているので、閲覧希望の方は、幹事まで連絡を頂きたい。抱腹絶倒必然この上無い。

(なお、最近の一部の会報については、OB 会 HP にて閲覧することができますのでそちらも参照下さい)

(※1)：山崎氏 (S56) 率いるラテンバンド。フト T シャツで、当時のジャズフェス電波を席卷した。残念ながら筆者はビデオでしかその実態を確認したことは無いが、ある意味 (ラテン&酒) で最もロスガラを表現していた集団ということが出来る。

(※2)：ロスガラ在籍者の伴侶に、旦那との馴れ初め等々について、楽しく書いてもらう記事。通称「ロス妻」。バンドの男女構成比上、圧倒的に妻が書く場合が多いが、過去に二件、「ロス夫 (おっと)」掲載有り。

(※3)：夏のジャズフェスへの参加レポート、及び思い出などの寄稿。ロスガラ OB でジャズフェスの TV 放送電波に乗った人が割りと多いのは、事実である。

(※4)：鬼才・鈴木画伯 (S60) による、読者の気持ち次第でいくらかでも長くなる漫画。今回、OB 会報 50 号突破記念につき、10 年の月日を越えて復活【後述参照】。

### ◎その後の進化と今後の課題

近年に至っては、新・家電三種の神器の誕生により、デジカメ活用による写真の掲載や、カラー印刷などが導入されてきた。また、ワープロソフトの性能も向上し、書面の編集がより簡便になったことから、ビジュアル面での進歩は、発行初期に比べてかなり進歩したということが出来る。

以上、非常に簡単ではありますが、これまでのロスガラ OB 会報の変遷を追って参りました。今回、これまでの歴史を把握するに当たり、過去の会報を一通り読み返してみたのですが、ロスガラ OB 会報がただの会報ではなく、これほどまでに長く続いてきた大きな理由の一つとして、会報の根本に「大いなるユーモア精神」と「音楽が大好きな気持ち」があるからではないかと、強く感じました。今後の会報を作成する際にも、是非この二点を守りつつ、進めて行きたいと思います。

## 【特別寄稿】OB 会報作成の思い出

このように色々の変遷のあった OB 会報ですが、過去の OB 会報作成に当たられた元幹事の方々から、OB 会報作成時の思い出を寄稿してもらいました。

### ◎ロスガラ OB 会報の思い出

小林 右治 (S43)

ロスガラ OB 会報 50 号おめでとうございます。私が OB 会報を作っていたのはいつ頃だったか・・・で

もその頃の情熱だけは今も覚えています。OB 会創設のころ、今は亡き清水さんと「ロスガラ OB が結束したら将来すごい力を発揮できるはずだ」というようなお話し、興奮して何十年先のロスガラ OB 会の姿に思いを馳せたものでした。

当時の OB 会報はまだワープロが一般には普及しておらず、5 ミリ角ほどの小さな升目にびっしり手書きの文字で、先輩の奥様から「読む気がしないわよ」と酷評を頂きました。「ロスガラの妻達」を掲載できるような環境ではなく、山野コンテストにも縁のない頃でロスガラの生い立ちを若い世代に伝えたいという情熱をぶつけただけの会報でした。でも洗練された今の OB 会報にも、やはりロスガラ OB 会に注ぐ熱い情熱を感じます。この情熱こそ今後も引き継ぐものです。ロスガラ OB であることに誇りを感じています。

◎会報ワープロ化の頃

**林田 浩一 (S55)**

私が OB 会の幹事をやっていたのは、会社に入ってからもない頃だったので今から 20 年前のこと。会社にもようやく「パソコン」という機械が導入され始め、会社にも 2 台ほどの PC が貴重品として大切に扱われ、みんなで順番待ちして使用していた頃である。「一〇郎」というワープロソフトを使って会報を作成したのが OB 会報電子化の幕開けであった。(でも「LG」のロゴは手書き)

あの頃は、会社の中で重役に就かれている先輩方が会長や幹事の時代だったので、社会人一年生の小生が一番下っ端だった。

しかしながら、幹事の打合せは先輩の会社の会議室だったし、会報の印刷は会社のコピー機、封筒入れや発送作業は会社の若い子にお願いされていたので、(下っ端のくせに) 仕事らしい仕事をした記憶がありません。さらには、会合の後は先輩御用達のお店にお供させてもらい、美味しいお酒や先輩のお話を聞かせていただき、良き時代であった。結局幹事としてはワープロ打っただけだったかも……。

◎会社でドキドキ？！

**小林 “ハニー” 有一 (H01)**

私が担当したのは 44 号と 45 号。第 2 回 OB 大演奏会の開催に夏号はネタに困ることはありませんでしたが、冬号はどうしたものかと悩んだのを覚えています。

ちょうどベビーラッシュでもあり「親ばかサミット」なるものを企画したのですが、単なる呑み会をみんなが読んで楽しめる「親子当てクイズ」に発展させたマリリン宇野氏 (H01) には拍手です。

また、個人的に毎年楽しみにしているロス妻コーナ

ーでは、美幸奥様<sup>(※1)</sup>との楽しい交渉により、すばらしい写真を数枚いただきました。「どの写真を載せるかお任せするわ」とのお言葉を拡大解釈し、ダンス姿はロス妻とは別のコーナーにして全部使わせていただきました。編集時は、たろうちゃん (H02) 編集第 39 号のベリーダンス<sup>(※2)</sup>に対抗！と一人でわくわくしましたが、会社にてそれを何百枚もカラー印刷していた時はそれはもう冷や冷やしたものです。いやあ、楽しい編集でした。

(※1)：杉浦氏 (S63) の奥様。サンバチームでダンサーをしている。第 45 号にセクシーな衣装姿がカラーで掲載されている。それは、何も知らない会社の人に見られたりしたら、噂位にはのぼりそうな写真である。

(※2)：トルコやエジプトの伝統的な、女性の踊り。衣装がセクシー。動作もセクシー。

◎バンデルレイ・デリマのように

**百瀬 文隆 (H03)**

夏休みの宿題に対する取り組み方には 3 通りある。ペースを守りコツコツ進める「長距離ランナー型」<sup>(※1)</sup>、前半に終わらせてしまい後半は日記をつけるだけの「良妻賢母型」<sup>(※2)</sup>。そして問題を先送りしつづけ、二学期前日途方にくれてしまう「アルゼンチン・デフォルト型」<sup>(※3)</sup>。私は最後のタイプ。夏がくるたびに思いだす、嫌な汗と現実逃避の日々……。

一人仕事であれば徹夜なり「脳内自由研究」で何とか形にすることもできるが、文集・会報の類では通用しない。依頼した原稿が期日通り手に入らないこともあるし、油断すると依頼自体が伝わっていないこともある。とはいえゴーストライターになって「オレ会報」を作るわけにも行かずオロオロするばかり。私が担当の際は幹事の方々に御心配をお掛けしました。

これからの編集係には、ぜひ長距離ランナー型であってほしいと願います<sup>(※4)</sup>。充実した内容を目指して頑張ってください。気をつける点は「発行直前にスカート履いた元司祭に襲われないこと」<sup>(※5)</sup>です。すかね……。

(※1)：無理が掛からず、最も確実なやり方。と、わかっているけど、中々実行できないやり方でもある。

(※2)：前倒し型。割りとう無理が掛かりやすく、挫折の可能性が有り得る。

(※3)：真綿で自分の首を絞めるやり方。やらないとまずいとわかっているが、なぜか直前までやらない。ちなみに、筆者もこのタイプ。

(※4)：3ヶ月前に聞いておけばよかったです。

(※5)：プリンタの故障とか、原稿ファイルの破壊とか……。

◎特別 6 コマで復活！ロスガラくん！

鈴木 章夫 (S60)

6 コマ目⇒1 コマ目は何度でも帰ってこれます。実演したら、何杯でも乾杯できます (※1)。

復刻版

# ロスガラくん

創刊 50 号記念 すずきあきお



(※1)：本漫画の発端は、鈴木画伯がご病気で入院された際に強いられた苦しい禁酒生活のもと、酒を飲みたい一心から生まれたものとか、そうでないとか、諸説ある。そのため、毎回、とにかく酒を大量に飲めるシチュエーションがシミュレートされた内容となっている。

皆様、ご寄稿ありがとうございました。ハニー氏、百瀬氏のお話に関連してですが、OB 会報の迅速な完成にとって、非常に重要なのが、“ネタ”と“編集者の努力 (コツコツ型)”です。後者は、先天性疾病の部類に入り、著者もほぼ諦めておりますので、皆様には是非、前者について、ご提案等いただければ幸いに存じます。

**OB 会報ネタ、随時募集中！！**

**何かございましたら、OB 会幹事までご連絡下さい。**

## ロス・ガラチェロス 現役活動報告

バンドマスター：小出 俊介

こんにちは。2005 年のバンドマスターを務めさせていただいております、小出俊介と申します。我々現役一同、先代の方々が築き上げてくださった環境の中で、進化を加えつつ、のびのびと楽しい日々を送っております。

月日が過ぎるのは早いもので、我々 E 年にとっては今年が現役最後の年となってしまいました。飲みにいけば昔のことを振り返ることが多く、寂しさと共にやる気がみなぎってくる毎日です。

それでは、我々現役の前期の活動を振り返ってみたいと思います。

< 4 月 6, 7 日…新歓オリ >

今年も例年通り、講堂と講堂横で演奏しました。講堂内での演奏では、クールで熱い『Mira Mira』を演奏し、その他気合の入った演奏で多くの新入生のハートをつかむことができました。また、エンジンがかかる前の部員たちによるセッション中にプロのパーカッショニストが参加するという嬉しいハプニングもありました。

< 4 月 9 日…園遊会 >

今年は新たに園遊会にも参加させていただきました。初めてのことなので、みんな聴いてくれるのか、など色々心配していましたが、思いのほか盛り上がりました。「園遊会を聴いて入部した」という新入部員も多く、その効果は大きかったと思われます。

< 5 月 3 ~ 5 日…春合宿 >

場所は去年と同じく「ホテルイタクラ」というところで行われました。短い行程ながらも一同張り切っ

て活動し、良い合宿となりました。最終日は、若さあふれる Jr.お披露目と、OB による年季の入った『The Chicken』の演奏という二つの名演奏で締めくくられました。

<5月12日…art at tokyo tech 2005>

このイベントは、最近まで講堂の袖で眠っていた、由緒正しい「ベヒシュタイン」のピアノが整備・調律され帰ってきたことを記念してのものでした。我々の他に、日程は違いますが、東京工業大学管弦楽団やプロのプレイヤーも参加していました。演奏した場所は当校の西 9 号館デジタル多目的ホールでした。なかなか充実した設備の中、楽しく演奏させていただきました。立派なピアノの前で、pf 土井が恐縮気味であったのが印象的でした。

<5月21日…LSBCG～専ら四工大～>

専修大、武蔵工大、日本工大、芝浦工大、東工大という参加大学故のこのネーミングですが、今年の日本工大は部員不足のため、バンドとしては不参加となってしまう残念でした。今年初めてのコンサートでしたが、大きな問題もなく、よいスタートを切ることができました。

<5月29日…東京大学五月祭>

今年も呼んでいただきました。年間通して初めての学祭ステージです。今年も会場の講義室は超満員となり、熱気で汗だくになりながらの演奏でした。嬉しい限りです。

<6月12日…DOS/V>

非常に交流の深い、日大リズムソサイエティとのジョイントライブです。ラテンバンド同士ということで気が合いやすいのか、ステージも打ち上げも異様に盛り上がりました。今年のサブタイトルは、～カンチい、ラテンしよっ♪～でした。やはりラテンは楽しいですね。

<6月26日…七大学もっと仲良しコンサート>

二年前と同じく、上野の水の上音楽堂に帰ってきました。一日通しての野外コンサートなので天候が心配でしたが、スッキリ晴れてラテン日和でした。前期最後の本番でしたので、一同気合が入り、とてもエモーショナルな演奏ができたと思います。

前期を通して本番を重ね、その都度反省を生かしどんどん成長していくという良い流れができました。現在は山野ビッグバンドジャズコンテストに向けて猛練習中です。今年も去年と同じ「府中の森芸術劇場」にて、8月20日21日に行われます。今年のロスガラの出演は、8月20日の22番目、19:05～です。ぜひとも、応援よろしく願いいたします。

また、今後の詳しい情報は下記の HP に随時アップしておりますので、そちらの方もご覧ください。それでは最後になりましたが、今後も現役ロス・ガラチェロスをどうぞよろしく願いいたします。

\* Los Guaracheros official web site

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Labo/4011/>



<2005/6/26 七大学もっと仲良しコンサート>

### **緊急報告：ロスガラ現役が困っています！！**

1 面記載の森田新会長挨拶にもありましたように、現役の方々が、以下の点について困っております。

#### ①譜面のアレンジ代

近年のロスガラ現役の方々の躍進の一要因として、譜面のアレンジに非常に力を入れているとのことですが、しかし、現役三役のお話を聞いたところ、「譜面アレンジに要する費用が膨大であり経済を圧迫している」とのこと、聞いてみれば譜面アレンジによる費用は実に年間約 50 万円にも及ぶそうです。ただでさえお金の無い学生の方々、部員が 50 名いたとしても、一人当たり一万円がアレンジ代に掛かることになり、金銭面での負担が大きいことが伺えます。⇒この問題については、新規で「譜面アレンジ基金」の設立を行いたいと思います。詳細は後述「事務連絡欄」をご参照下さい。

#### ②演奏機会の減少

ここ数年、現役の方々は 9 月に新宿ビアガーデンにて演奏を行っていたそうですが、今年度は諸般の事情により実施中止となってしまいました。このことから、山野から学祭までの期間、現役の方々の演奏機会が減ってしまいました。

⇒皆様の周りでの演奏機会（会社行事など）や、皆様のバンドのライブにジョイントさせるなど、情報を募集しております。何かございましたら、簡単にご構いませんので、OB 会幹事へのご連絡を宜しくお願いします。

現役の方々は学生であることから、バンド運営を行う上でも中々自力で解決しきれない問題が多々あります。皆様のご協力を是非宜しくお願いします！！

**【シリーズ】 OB 活動報告: *Tb borrachos***

今回は、高梨氏 (S52) 率いる「*Tb borrachos*」をご紹介しますと思います。ご紹介に当り、リーダーの高梨氏、並びにバンドのボーカル兼広報・営業部長の鯉江佳代氏にお話を聞きました。

※高梨氏: <高>、鯉江氏: <鯉>

◎バンド結成のいきさつは?

<高>: いろいろバンドをやってきたなかで、4 beat のスタンダードを心地よくできるグループを組みたくなっただけですね。そこで、フロントのトロンボーンは、「東京ガラチョス」の *Tb* セクションメンバーに、以前別のバンドで一緒した、スーパーアマチュアトロンボニストを加えた 5 管で構成し、リズム隊 3 人、そして、バンドの華としてボーカルを加えた 9 人編成でバンドを組みました。

<鯉>: ロスガラ OB 大演奏会にも何度か参加していますので、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、いつも派手な衣装で歌いまくっている私です (笑)。ちなみに、バンド名「トロンボン・ボラーチョス」は、“酔っ払いトロンボン” という意味で、メンバーの満場一致で決定しました。

<高>: だいたい Jazz や Latin 人の考えることは一緒のようで、ロス・ボラチョスなんてサルサバンドが有名だそうですね。トロンボーンを前につけておいて良かった、なんて。あ、話がずれた (笑)。

◎バンドのコンセプトは?

<高>: Jazz といってもいろいろなスタイルがありますが、スイングからビバップあたりで西海岸の人達がやってたような曲が好きなので、ここいらへんの曲で、トロンボーンハーモニーを利かせた粋なアレンジやメリハリがあって聞き応えのある小洒落た感じで演れるものを集めます。加えて、*Vo.* ものや *Tb* フィーチャーものには BigBand のアレンジを流用したり、コードとトップノートを入れてスタイルを指定するとアレンジを吐き出してくれるソフトもたまに使ったりして、曲の幅を広げてます。

<鯉>: 練習場では、高梨さんの電子グッズが大活躍ですよ。その場で譜面プリントアウトしてセッションしたりね。

<高>: あと、バンドで目指していることとして、小編成のバンドなので、フットワーク軽く、気軽に Live をやろう、ということがあります。バンドやっていると、人前で演奏して共感してもらえたときの楽しさは格別ですからね。そして、本番の後の打ち上げの酒のうまいこと! ジャンルもノリの良い Jazz から、しっとりした大人の Bossa nova まで、各種のお酒を飲むのにマッチしたものを色々やっていますよ。また、*Vo.* を楽しんでもらいたいときには *Vo.* + 3 リズ

ムのコンボにしたりしていろいろやっています。なので、お客さんも飽きずに一晩我々にお付き合いいただけているようですね。*Tb* と *Vo.* の取合わせも良いですね。

<鯉>: とにかく、ライブ大好き人間の集まりなので、見て、聴いて楽しいこと請け合いです!

◎主な活動場所は?

<鯉>: ライブハウス「ボナペティ」です。大体 3 ヶ月に一回のペースで出演しております。「ボナペティ」は、東急大井町線 (又は都営浅草線) 「中延」駅下車徒歩 3 分の長いアーケードの真ん中あたりの地下一階、ミュージックチャージはなんと ¥1,000 ポッキリ、フード & ドリンクは頼んだその場で支払うキャッシュ・オン・デリバリー方式のふらっと寄れるライブハウスです。

<高>: よっ、営業部長!!

<鯉>: はっ! いつの間にか宣伝になってしまいました…。

<高>: ははは! その他にも、横浜 Jazz プロムナードや品川の E1 タワーなどのイベントなどに出て Live を楽しんでいます。これからも曲を入れ替えながら、肩の力を抜いて長く演奏を楽しんでいきたいと思えます。

高梨氏、鯉江氏ありがとうございました。皆様も是非 *Tb borrachos* のライブをご体験下さい。

**【新シリーズ】 伊藤大の Stanford 滞在記 #01**

近年スポーツの世界 (特に野球) では、若い選手の海外への挑戦が目立ってきております。ロスガラ OB 幹事からもこの度、伊藤氏 (H05) が、この 6 月より、米国へ野心満々 (?) に旅立って行きました。そんな伊藤氏の海外活動報告を、今後 4 回に渡り連載していきたいと思えます。

**伊藤 大 (H05)**

2005 年 3 月、某大手印刷会社にて。私「あの～海外行ってみたいんですけど。」、部長「いいよ～」ってな経緯で 2 年間の約束でアメリカはカリフォルニアの Stanford 大学に 6 月より滞在することになりました。という訳で連載でこちらの様子などお伝えしたいと思います。

初めての海外生活、といっても一応サラリーマンなので、会社からのサポートは万全であり大きな問題はありません。来るにあたって何が大変だったかって、怒涛の送別会 (10 件位? / 2 週間) を乗り切ることでした (もちろん皆様には感謝!). さすがに渡米

直前はバテバテ。あんなに引越の準備をしないで引越したのは初めてってくらいギリギリで日本から飛び出して来ました。(引越しは“完全に”お任せパック。)

さて、Stanford がどの辺にあるかと申しますと西海岸のサンフランシスコとサンノゼの間です。気温は 25 度前後でカラッとしてるので、とても過ごしやすく夏場はほとんど雨も降りません。(今頃日本の皆さんはうだるような暑さに耐えているのですね。) スポーツするにはもってこいで、私も早速テニスしたり、ゴルフしたりで楽しんでます。Stanford は大学にゴルフ場があって学割でたったの \$ 25 です。安いわ！また、アメリカ人は露出が好きなのか上半身裸でランニングやサイクリングしたりしてます。私もその内…。

音楽ネタはまだほとんど無いのですが、今ここでは Stanford Jazz Festival なるものが飛び飛びで開催されてます。Curtis Fuller Quintet を聴きに行きましたが、寄る年波には勝てない感じでちょっと残念。昨日はエリアルレ(Eric Alexander)を逃してしまった(一応仕事もあるので)ので週末の秋吉敏子/Lew Tabackin に期待です。

【つづく】

伊藤さん、米国生活を楽しまれているようですね。今後は、ロスガラ OB が唸るハプニングの発生に期待いたします。ただ、警察沙汰にはならないように！！

### OB 会ホームページをご存知ですか？

<http://losgob.at.infoseek.co.jp/>

こちらが OB 会の HP の URL になっています。

主に現役や OB の関連情報の掲載といった OB 会の広報的な目的に使うと同時に、グローバルな活躍を求めて世界に散っている(言い過ぎ?) OB 仲間への掲示板としてのご利用も出来ます。

最近、ロスガラ関連の HP を対象にしたアンテナ(HP の更新状況をひろってリスト表示するサービス)を設置してみました。参照されていないページをご存知の方がいらっしゃいましたら、情報提供をお待ちしております。また、こんなコンテンツが欲しいといった要望もお待ちしております。まだまだ、内容の寂しいものではありませんが、OB 会全員で、より充実した HP に育てていければ幸いに存じます。

皆様のご意見をお待ちしております。宛先は、OB 会幹事まで宜しくお願いします。

### OB 会からのお知らせ

#### **編集後記**

今号は OB 会報 50 号記念としまして、過去の OB 会報などを色々と読み込んだのですが、改めてロスガラ、そして OB 会の歴史を見直す良い機会となりました。先人の築いてきた伝統をベースに、更なる発展を目指しましょう！…と云いつつ、昨年度 OB 会費支払いをしていないことに気がつきました……。まずは会費を払わなくては！(吉田)